

教育研究評議会議事録

令和3年12月8日(水)
15時30分から16時55分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者
議長
評議員

玉手英利(学長)
飯塚博 出口毅 矢作清 根本建二 花輪公雄 瀧瀬晃(理事)
林田光祐 羽鳥政男(副学長)
是川晴彦 本多薫
大森桂 中西正樹
大西彰正 並河英紀
中島健介 落合文吾
村山秀樹 渡部徹
伊藤浩志 三上英司
佐藤慎哉

陪席者
監事
小白川キャンパス長

渡辺均 大森夏織
清塚邦彦

欠席者
評議員

上野義之 川前金幸

- 1 教育研究評議会議事録(11月10日開催)の確認
玉手学長から、前回11月10日開催の本会の議事録(案)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】令和6年度山形大学入学者選抜における学力検査実施教科・科目等について
出口理事から、令和6年度山形大学入学者選抜における学力検査実施教科・科目について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 3 【協議】令和5年度(2023年度)山形大学入学者選抜における私費外国人留学生入試学力検査実施科目等について
出口理事から、令和5年度私費外国人留学生学力検査実施科目等について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 4 【報告】令和3年度大学院入試について
出口理事から、議題に関して、報告があった。

本件に関する意見は以下のとおり。

- ・フェローシップの効果を見極める時期にある。
- ・フェローシップのように企業と連携し、アカデミア人材を産業界へ輩出していくという考え方が必須になっていくのではないか。
- ・大学として博士後期課程の人材育成をどれだけ支援していくかを明確に示すことが、学生へのアピールになる。

- ・奨学金のあるフェローシップ事業にしていきたい。
- ・理学系の学生は研究志向が強く、就職を希望しないという特徴がある。

- 5 【報告】令和3年度山形大学優秀教育者賞について
出口理事から、議題に関して、報告があった。
- 6 【報告】令和3年度就職状況(11月末現在)について
矢作理事から、議題に関して、報告があった。
- 7 【報告】令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果について
花輪理事から、議題に関して、報告があった。
- 8 【報告】令和4年度予算編成方針について
根本理事から、議題に関して、報告があった。

本件に関する質疑応答は以下のとおり。

- ・キャンパス経費について、昨年度まであった「各キャンパス長と役員等との戦略的対話」という表現が無くなっているが、対話は行わないのか。
- ・対話という形ではなく、大学経営の面からキャンパスをどのようにしていくか、随時打合せをして決めていきたい。
- ・電子ジャーナル経費について、本部に一括計上となるが、キャンパス負担はどのようになるのか。
- ・本部6：部局4の比率で負担を検討しているところである。

- 9 【報告】教員人事委員会の検討状況について
羽鳥副学長から、議題に関して、報告があった。

本件に関する意見は以下のとおり。

- ・教員人事委員会を設置し選考フローを変えることで、何が良くなるのかを示してほしい。
- ・学系長が選考するとあるが、学系長が他学部の教員の場合も考えられる。他学部のカリキュラムに関する細かな事情などを全て理解し、適切な教員を選考するということが本当に可能なのか。
- ・現在のフローでは部局長と学系長の役割がわかりにくいため検討が必要である。
- ・学長のリーダーシップを発揮し、戦略的に進めてほしい。
- ・次年度以降の教員人事方針を検討する段階では、キャンパス担当理事・副学長を構成員に加えるなど部局の意見を反映できるよう検討願いたい。
- ・人事委員会に学長が入る必要があるのではないか。
- ・これまでの選考フローにおける役員会決定は無くなるのか。最終的な決定のプロセスを示してほしい。

- 10 【報告】経営協議会（11月26日開催）について
学長から、議題に関して、報告があった。
- 11 【報告】研究科長、学部長等の任命について
学長から、議題に関して、報告があった。

今回は、令和4年1月12日（水）に開催することとなった。